

# 奈良市の新しい学びのプロジェクト 平成30年度関連事業

授業改善の視点

## 「教え」から 「学び」へ



### 子どもたち一人一人に学びに向かう力を育む教育

自ら課題を設定し、それを解決しようと取り組み、新しい価値を見出していくような教育を行い、子どもたち一人一人の学びに向かう力を育みます。

また、個々の状況に応じた的確な指導・支援が行える適切な教育環境の充実を図ります。

### 学びに向かう力を育む

オーダーメイド型の  
学びの実現



「学びなら」推進事業

学習状況を客観的に分析・把握し、学習意欲や学力の向上を図ります。

英語をツールに  
思いを伝え合う



英語教育支援事業

生きた英語で自分の思いを伝え、表現できる姿勢を育みます。

きめ細かな  
指導体制



少人数学級の実施

小学校1、2年生に、基本的な生活習慣や学習規律の定着を図るため30人学級編制を実施します。

子どもたちに  
読書の楽しさを



学校図書館司書派遣事業

図書館司書が、学校図書館の運営を支援したり、授業を行ったりします。

アクティブ・ラーニング  
による授業実践



スーパースマートスクール(SSS)推進事業

高等学校で、スマートフォン等を効果的に活用し、思考力・判断力・表現力を高めます。

### 個々の状況に対応

#### 特別支援教育支援員の配置

通常の学級における特別な支援を必要とする子どもを支援するために特別支援教育支援員を配置します。



#### 特別支援教育推進事業

特別支援学級及び通級指導教室の学習環境の整備と、子どもの発達にかかわる相談等による適切な支援を行います。

#### スクールカウンセラー派遣事業



スクールカウンセラーが、不登校・発達障害等の問題を専門的視点から捉え、子どもや保護者からの相談に対応します。

#### 訪問指導による特別支援教育の充実

専門の指導員が学校を訪問し、通常の学級における特別な支援を必要とする子どもへの指導方法について、教員への支援を行い、教員の指導力の向上を図ります。



#### 適応指導教室事業

学校へ行きにくい子どもの活動場所として奈良市適応指導教室「HOP」を設置しています。

#### 日本語指導支援

学校生活や学習に必要な日本語が十分でない子どもに対し、異文化適応や日本語習得の支援を行います。

子どもたちが、身に付けた知識や技能を生かし、自ら学び、自ら考える教育へ転換することが、生涯にわたって主体的に学び続ける力を育みます。

子どもたち一人一人の

「もっと知りたい！」を引き出し、自ら学ぶ喜びや楽しさを実感できる学びを目指します。

授業改善の視点

## 「教え」から 「学び」へ



教員のこれからの役割は「教えること」だけではありません。知識を詰め込むだけの教育から、子どもたちが**自ら学び、自ら考える**教育へと転換していかなければなりません。

そこで、子どもたちから学びを引き出す**「ファシリテーター」**役となるような教員の育成を目指します。

## 子どもの学びを引き出す教員への支援

子どもたちが教えから得た知識を生かしながら、主体的に学ぶ授業を教員が創造できるように支援します。

子どもの学びを支えるための取組



教職員研修の充実

指導主事等が学校を訪問し、教員一人一人に対してきめ細かな指導、支援、相談を行う訪問型の研修や、各教員のキャリアステージや職務に対応した集合型の研修を実施します。



教員自身も、学校外で行われる様々なジャンルの研修へ自主的に参加し、自らの学びの幅を広げることで、子どもの学びに還元できるよう取り組みます。

いじめ等を未然に防ぐための取組



学校支援プロジェクト事業

いじめや生徒指導などの問題の未然防止と迅速な対応のために、校長OB、警察OB、スクールソーシャルワーカーによる学校支援コーディネーターが学校を支援します。また、いじめ対応支援員が、いじめの未然防止や緊急対応に備えます。

ICTを活用した学びと教への充実



教育指導力向上推進事業

教員がいつでもどこでも学ぶことができるポータルサイト「なら学びの広場」を運営し、教員の指導力の向上に努めます。



学校ICT環境の整備

ICT環境を有効活用できるよう、教員の指導力向上や活用支援を推進し、子どもたちの教育環境の向上を図ります。



次世代学校支援モデル構築事業

子どもたちの個に応じた学びを実現しながら、エビデンスに基づいた学校運営、学級運営及び市教委の各種施策の改善等を実施する枠組みを構築します。



キャリア教育の視点

## 教室と社会をつなぐ



自分の幸せだけでなく、他人を思いやり、  
幸せな社会を創るために**夢を持ち、それを実現しようとする子ども**を育成します。

子どもたちの学びが、教室の中だけで完結することなく、社会での学びとつながっていることを実感することで、**よりよく生きるために必要な力を育みます。**

## よりよく生きるために必要な力を育む教育

教室の中での学びが、社会での学びとつながっていることを実感し、生活や社会の中で出会う課題を解決するために必要な力を育みます。

### 社会とのつながりを実感させる教育



#### 奈良市キャリア教育推進事業

自らの学びが、身の回りの生活や社会に役立っていたり使われていたりすることを実感できるような体験を中心とした学習を行います。

### 9年間の連続した学び



#### 小中一貫教育推進事業

小・中学校の教員の協働と家庭・地域との連携の中で、確かな学力、豊かな人間性の育成を図り、未来を切り拓く人づくりを行います。

### 自分のまちを誇れる子どもの育成



#### 世界遺産学習推進事業

生まれ育った「奈良のよさ」を深く知ることで、自分たちの町を大切にすることを育み、主体的に活動できる子どもを育成します。

### 命の尊厳を考える取組



#### 命きらめきプロジェクト事業

教職員が子どもの自殺予防に関する知識やスキルを身に付けるための有識者による研修会や、命の尊厳について考える「命のミュージアム展」を開催します。

### バンビーホームの充実

学習プログラムの実施、また長期休業中等に昼食を提供することで、就労している保護者のニーズに応え、放課後の子どもたちの環境を充実させます。



バンビーホーム  
学習プログラム



バンビーホームの  
昼食提供

キャリア教育の視点

## 教室と社会をつなぐ



子どもたちがこれからの社会を生き抜くためには、**他者と協働しながら新しい価値を創造する力**が求められます。そのような力を身に付けるために、**教育現場に必要となってくるのは「地域の力」**です。

学校・家庭・地域が、未来を生きる子どもたちの姿を共有し、**「この地域で育ってよかった」**と誇れる子どもたちを連携して育てます。

### 地域全体で子どもたちを見守り育てる体制

学校・家庭・地域が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して地域の子どもたちを育てます。

#### 地域と共に学校を考える取組



コミュニティ・スクール推進事業



地域で決める学校予算事業

地域の特性を生かした教育の実施や、学校での学びをより豊かにするため、地域とともにある学校づくりをさらに充実させ、社会に開かれた教育課程の実現を図ります。

#### 子どもたちの居場所をつくる取組



放課後子ども教室推進事業

安心安全な居場所を設け、地域全体で放課後の子どもたちを守り育てる体制をつくります。

#### 子どもたちの命を守る取組



いじめ問題相談体制の強化



子ども安全推進事業

いじめに悩む子どもが相談したいときに、相談できるよう、24時間電話相談や、SNSによる相談体制等を構築し、早期発見・迅速な対応をすることにより、子どもたちの命を守ります。

学校、地域及び関係機関と緊密な連携をとり、共に安全に関する意識を高めます。また不審者情報等のメール配信により、地域で子どもたちの安全確保を図ります。